

## 第三十五回自由民主党大会における総裁就任に 当たつての挨拶

(昭和五十三年十一月一日 日比谷公会堂)

ただいま、本臨時大会におきまして、私が自由民主党総裁に選任されました。まことに身に余る光栄で大きな感激でございます。

まず、私は、福田前総裁が総裁として、わが党の再建に尽くされました数々のご貢献に對しまして、この機会に心から感謝申し上げます。また、この総裁選挙に当たりまして、党の結束と融和を図るために、みずから候補を辞退されましたご勇断に對しまして、満腔の敬意を表するものであります。

いま、わが党にとりまして最大の問題は、わが党の融和と結束を固めることでございます。これまで、もし、不和と違和感、こだわりというものがあつたとすれば、この際、これを捨てなければならぬと存じます。そして、相互の信頼の上に、党勢の拡張と党改革の推進に邁進しなければならぬと存じます。

私は、全党的な立場に立ちまして、公正にして明朗な党運営を図りながら、すでに手を染めました党改革を精力的に進めまして、国民の期待にこたえて、清新にして活力のある党の再生を実現しなければならぬと決意いたしております。諸君の一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

本日、全国からご参集いただきました党员・党友の皆さまを初め、国会議員同僚のご健勝とご発展を祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。ありがとうございます。